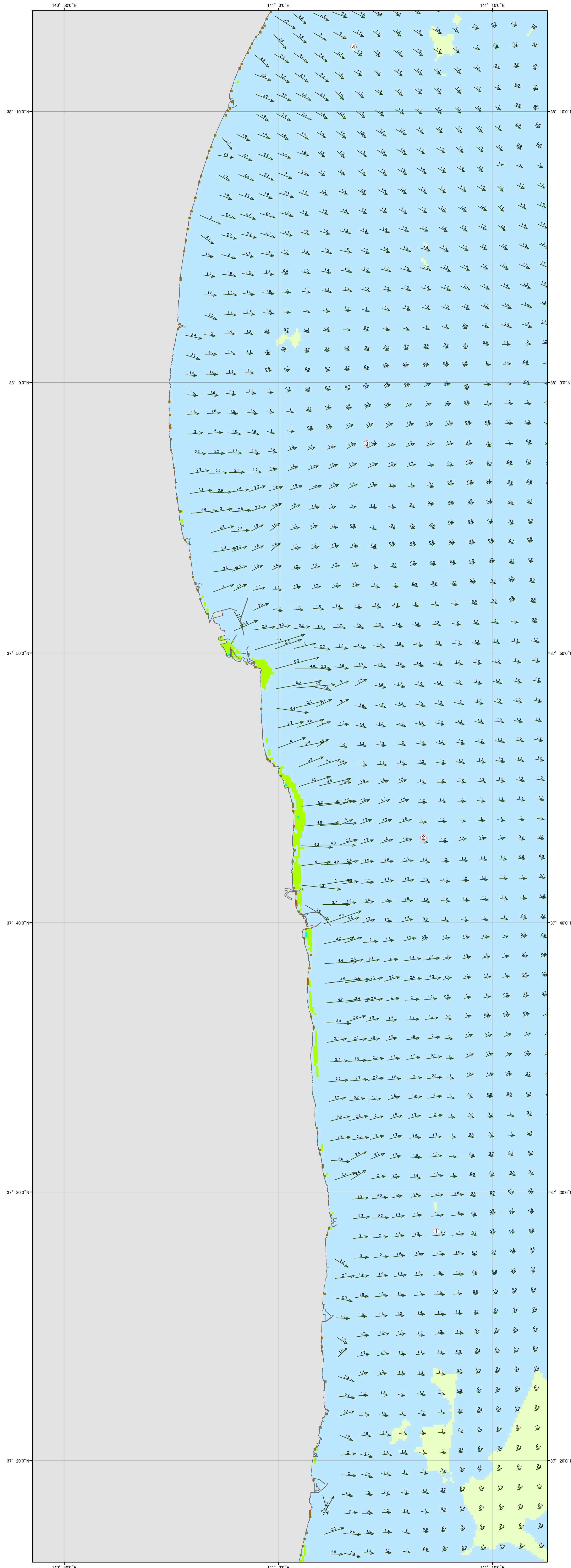


計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 -0.03m(-0.09m ~ -0.01m)
 Zo：0.88m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

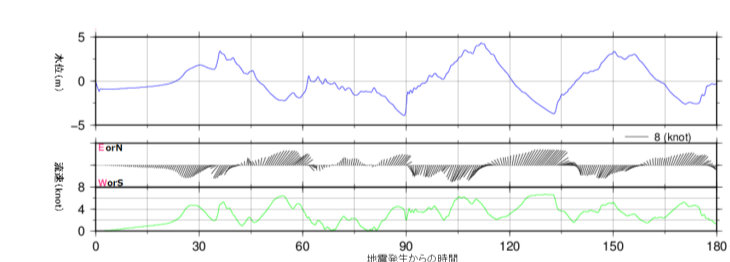
最大水位低下

- 3~最大3.1m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

(No) 経時変化図出力点

(以上の位置における津波の移動を前提の経時変化図です。)

(No) 水位、流向・流速経時変化図

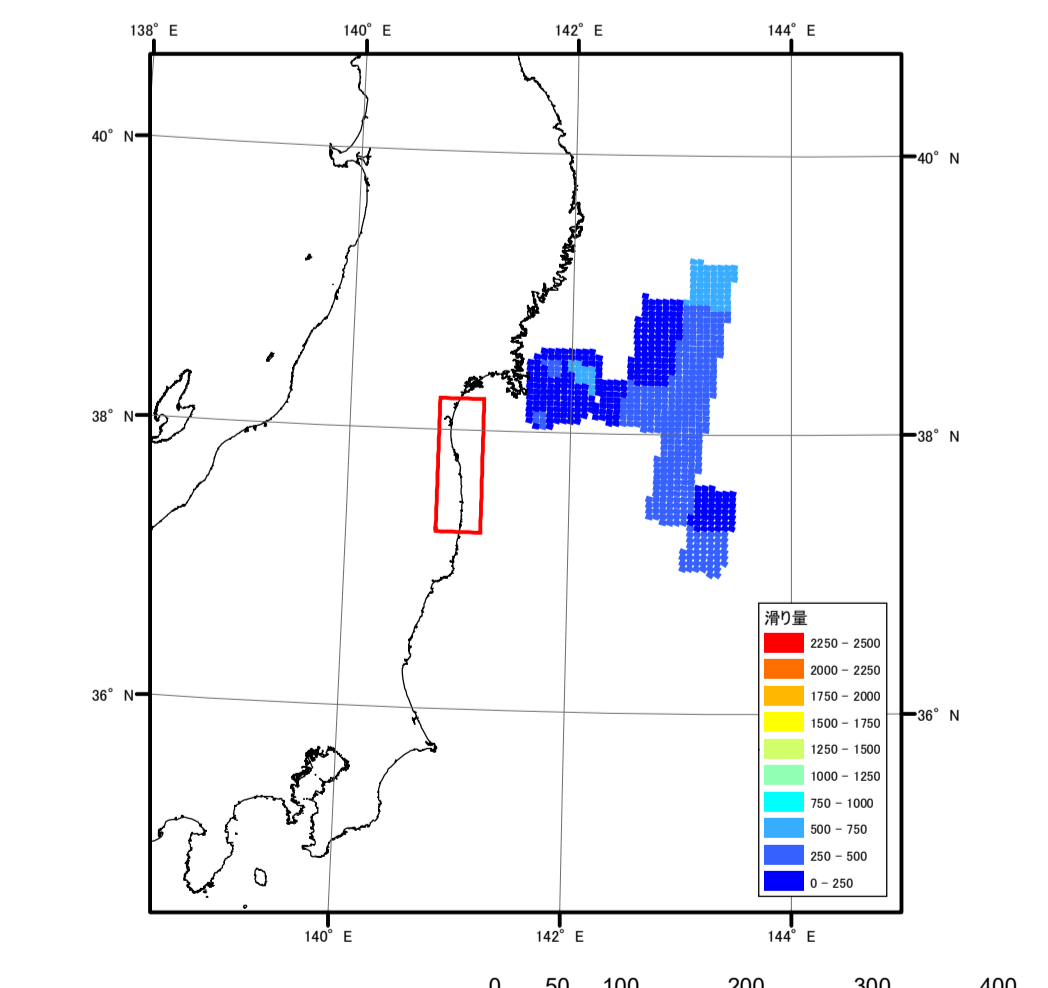


引潮時最大流 (knot)

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



宮城県沖地震
 モーメントマグニチュード Mw 8.2

本断層モデルは、中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ



作成機関：海上保安庁
 防災情報提供年月：平成29年7月 (初版)
 地図データ作成年月：平成29年1月 (初版)